



山科エリアTOPICS 【山科障害者授産所】

◇ 祝日開所！ペットボトルボーリング対決！

山科障害者授産所では、7月20日（月）海の日に祝日開所としてレクリエーションを実施しました。

午前中はイオンタウン山科桧辻へ利用者さん達と買い物へ出かけ、お昼ご飯を購入し、授産所内でいただきました。土曜日開所時はおなじみのお弁当屋さんで注文するので普段とは違うお弁当、お惣菜を選ぶ楽しさがあり新鮮でした。普段より多めに購入する利用者さんもいて「そんなに食べられる?!」、「これ食べたことある?すごくおいしいで!」など盛り上がりながら選んでいると思ったよりも時間がかかってしまいました。買い物に慣れている利用者さんもいれば、レジで購入することが慣れていない利用者さんもいるので、買い物の機会を体験していくことも大切だなと感じました。

午後からは山科身障会館の利用者さんと合同でペットボトルボーリング対決を実施しました。

山科障害者授産所 VS 山科身体障害者福社会館の結果は、3試合対決し、山科障害者授産所が2勝する結果となりました！

利用者さん、職員ともに大きな声を張り上げ、とても盛り上がったと思います。お相手してくださった山科身体障害者福社会館の皆さん、ありがとうございました。



（山科障害者授産所：奥村 友章）

洛南・右京エリアTOPICS【洛南障害者授産所】

◇ 出張講演事業について

洛南障害者授産所では6月から7月にかけて医療系専門学校、大学での出張講演を行ってきました。

出張講演事業を開始して以来、長い所では5年間続けて依頼をいただいている学校もあります。今年は新たに龍谷大学で講演をさせていただく機会もあり、少しずつ依頼も増えてきています。

合計4名の利用者さんに、テーマは様々ですが、自身の障がいに至った経緯や、障がいを抱えて生きる気持ちや悩み、授産所や自宅での日々の暮らしや工夫についての話をしていただいています。

学校での授業のため講演時間は基本90分という長い時間で、以前はしっかり話せるか、利用者さんも職員も不安と緊張がありましたが、回数を重ねていく中で「障がいについて色々な人に聞いてほしい、知ってほしい」という想いが強くなりました。90分では話しきれないボリュームになってしまう事もあり、事前の練習でどの部分を削って話すかの相談を行ったり、講演に対しての色々な案を出し合って原稿を読むだけではなくパネルを作成し、その都度のタイトルに沿った話を考えたり、片手だけでの生活の実演など、講演内容や対象にもよってどんどんと変化してきています。

講演者である利用者の方々からは、『「生徒さんに分かりやすく、聞いていて楽しいこと。そして当事者としての話を理解していただく事が私達の役割」だと捉え、楽しい雰囲気の中で、重要な点を漏らす事無く話していきたい。今後も様々な場所で講演活動が出来る事を期待しています。』との声をいただき、利用者の方々のやりがいとなっている実感に対し、支援者である私たちも嬉しくやりがいを感じています。

今後も講演を通して、障がい、福祉への理解や授産所の事を知ってもらえる機会を作っていきたいと考えています。また、障害者福祉分野の人材確保にも繋がる事業ともなればと思います。法人のスケールメリットを活かし、新たな出張先の学校や必要とされている方をご存じでしたら、ぜひ洛南障害者授産所にご紹介いただければと思います。



京都中央看護保健大学校



京都府医師会専門学校



龍谷大学



京都保健衛生専門学校



派遣利用者が日々の暮らし、障害を抱えて生きる気持ちや悩みなど、利用者だけでなくチームで決めたテーマに焦点を当てます。（可能な範囲で質疑応答も受け付けます）
大学、短大、専門学校、専門学校、企業等、市民会、行政、福祉団体、地域福祉活動など
施設教育にご活用下さい。お気軽に連絡ください。（075-671-8439）

詳しいお問い合わせは、お気軽に電話ください
電話 075-671-8439



出張講演の様子を撮影した動画のQRコードです。

（洛南障害者授産所：福島 正人）

◇ 清掃作業の取り組み

今回は当事業所で行っている清掃作業についてご紹介します。

定期的なところでは、伏見センター内のトイレ清掃や、会議室の掃除、週1回の高齢者施設の洗車に取り組んでいます。また、ポリッシャーやバキュームなど専用の機械を使って、伏見センターや他エリアの法人内事業所の館内清掃やワックスがけも行っています。

長く続けている事で利用者さんや職員のスキルも身につき、様々な場所ややり方に対応できるようになったのではないかと思います。

この暑い時期は特に体調に気を付けつつ、適度に休憩や水分補給をとりながら進めてもらっています。「頑張ります！」と前向きに参加され、利用者さんのやりがいや意欲向上につながる作業の一つです。

（伏見障害者授産所：矢野 響子）



◇ 新商品を販売します！

当事業所では、利用者の皆さんの「得意」を活かしながらシュシュやポストカードなどの自主製品を制作していますが、この度、新たな自主製品が完成しました！！

京都を代表する「金閣寺」をモチーフにしたホリデーカード。印刷用紙にもこだわり、雪景色の煌めきが美しく表現された季節感あふれる一枚となりました。



また、漢字シリーズのトートバックも新たに改良して販売予定。丈夫なキャンバス生地を採用し、マチを付けることで収納力が向上し、より使いやすい商品へと生まれ変わっています。

さらに、昨年度より季節限定で販売しているうちわでは「宇治」の漢字をあしらった新商品が仲間入り（一部店舗限定です）。

一つひとつ心を込めて作り上げた商品は、現在「ハートプラザ KYOTO 三条」「ハートプラザ KYOTO ぶらり 嵐山店」「はあと・フレンズ・ストア」に加え、宇治橋近くの「うじ・はんどめいどショップ」、京都の小川通御池を下ったところにある「京風堂 蔦 Shop」の5店舗にて販売しております。お近くの店舗にお立ち寄りの際はぜひ手に取ってご覧ください。

（伏見障害者授産所：饗庭 勝）

◇ 山科エリア 計画相談の集約化

令和8年度4月より、山科エリア内の「計画相談集約化」に基づき、支援センター「らくとう」内に「計画相談専門」の部署が設立されました。現在は職員3名で、支援センター「らくとう」が入っている建物の2階をお借りして計画相談業務に従事しております。

これまで、各部署に「兼務」という形で計画相談の担当職員がいましたが、通常業務と計画相談業務の併用の難しさが課題となっていました。私自身も、デイスポット楽の方で兼務職として計画相談を担当していましたが、通常業務の間に、職員体制が厳しい中で、「抜けて」計画相談の事務を行っていたことが多くありました。また、計画相談として緊急対応などが必要な場面であっても送迎業務や食事・入浴・トイレ介助などの関係で、すぐに対応できない事もあり、同じような悩みや課題が各部署の計画相談兼務職にはあった事だと思います。そのような課題から、兼務ではなく、支援センター「らくとう」内に、計画相談専門の相談員を置くことになりました(=計画相談集約化)。

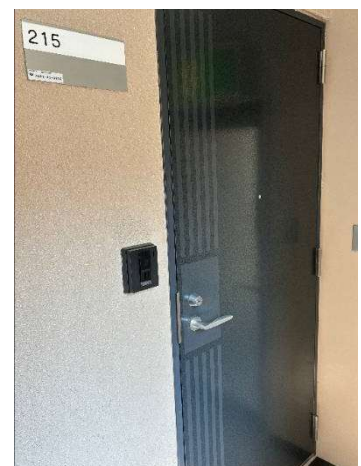
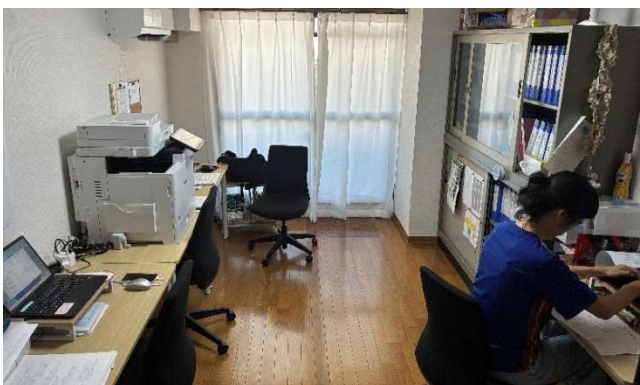
そのような課題の一方で、兼務で計画相談を行うメリットがあった事も事実です。

例えば、毎日のように利用者さんとお顔を合わす事が出来るので、些細な変化にも気づけたり、送迎業務で利用家族さんの方々とお会いして、近況の様子を確認や困り事の相談に乗れたりとプラス面もありました。

集約化となってからは、利用者さんと直接お顔を合わす事が減っていますが、それらを少しでも補えるように、今まで兼務職では中々出来なかったモニタリング期間を基本3カ月に1度(必要に応じては毎月モニタリング)の実施や生活状況を把握するため家庭訪問の実施、大きな変化がなくても受給者証更新時期には関係機関に集まっての担当者会議の実施(近況の様子を関係機関で共有する事により、今後の支援を円滑にするため)を可能な限り行う事により、利用者さん・利用者家族さんにとって、今まで以上に「より良い生活」を目指してお力になれるように頑張っていきたいと考えています。

現段階では約80名の方と契約しており、今後は放課後デイ「すてーじ」やだいご学園のセルフプランの方々にも計画相談の利用を提案し、件数を増やしていく動きにも取り組んでいます。

まだまだ、始まったばかりで、職員も計画相談業務の取り組み方等を試行錯誤している段階で、同法人の施設や関係機関の方々にも沢山ご迷惑おかけしておりますが、円滑に進めていけるように努めて参りますので、今後もよろしくお願い致します。



(支援センター「らくとう」：中川 友文)

NEW STAFF



やましな学園

Sayaka Tani (谷 沙弥佳)

ANIMAL／動物に例えると

パンダです！
よく食べ、よく吞んで、
よく笑います(笑)

MOTIVATION／モチベーション

家族との時間や、好きなアニメを
観てリフレッシュすることです。
特に「クレヨンしんちゃん」が好き
です！

FOOD／好きな食べ物

たい焼きと辛いものが好きです。
美味しいものには目がありません(笑)

THOUGHT／思い

笑顔と感謝を大切にしながら、チ
ームワークを大事にし、利用者様
が一人一人に寄り添った支援がで
きたらいいなと思っています。

ACTOR／好きな芸能人

芸能人の分類ではないかもしれま
せんが、「クレヨンしんちゃん」の
野原一家が好きです(笑)特に、野原
ひろしの、少しクセがあるけど家
族思いなところが好きです！

MESSAGE／上司から一言

利用者みんなに笑顔で接し、毎日明る
い雰囲気を作ってくれています。車は
安全運転！安心して仕事を任せること
ができる、やましな学園には欠かせな
い存在です。

酒豪というウワサがあります。

これからの活躍をご期待下さい！ (取材：支援センターらくなん：向井千賀子)

◇ メンタルヘルス相談室の利用について

当法人では職員の皆さんが安心して働ける環境づくりの一環として、カウンセリングの機会を提供しています。

昨年度までの「こころの健康相談室」に代わり、今年度からは京都市民間社会福祉施設職員向けの「メンタルヘルス相談室」で臨床心理士による無料カウンセリングを受けていただくことができます。

カウンセリングは対面のほか電話にも対応しています。また、悩みが解決するまで何回でも受けていただくことができます。プライバシーは厳守されますので、安心してご利用いただけます。

実施機関：公益社団法人 葵橋ファミリークリニック
(京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町376番地)

詳しくは次ページのチラシをご覧ください。

(本部事務局)

京都市民間社会福祉施設職員 メンタルヘルス相談室

臨床心理士による無料カウンセリング

 仕事のこと…、 家庭のこと…、 人間関係について…、
一人で悩んでいませんか？
ここが悲鳴をあげる前に…、誰かに話してみませんか？

近年、仕事に関して強い不安やストレスを感じる労働者が増えているなど、心の健康の問題が社会問題となっています。社会福祉分野においても少子高齢化の進行や世帯構造の変化、就労形態の変化などにより、福祉ニーズが増大するとともに社会福祉施設に求められる機能が多様化・複雑化しており、社会福祉施設で働く方々の精神的な負担も増加している状況です。

京都市では、社会福祉施設で働く方々の心の健康を保持増進するため、「民間社会福祉施設職員メンタルヘルス相談室」を開設しています。

○ 電話予約・相談時間

曜 日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
受 付 (電話予約)	9:30 ～20:00	9:30 ～17:00	9:30 ～20:00	9:30 ～17:00	9:30 ～20:00	9:30 ～17:00
相 談 (カウンセリング)	10:00 ～20:00	10:00 ～17:00	10:00 ～20:00	10:00 ～17:00	10:00 ～20:00	10:00 ～17:00

※ 祝日、お盆(8/13～8/15)及び年末年始(12/29～1/2)を除く。

○ 秘密は厳守されます。安心してご利用ください。

(専用電話) 0 7 5 - 4 3 1 - 9 1 5 1

※ 相談（カウンセリング）は完全予約制です。まずはお電話ください。

○ 対象施設

乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設、児童自立生活援助事業所Ⅰ型、Ⅱ型、ファミリーホーム、特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、障害児入所施設、障害児通所支援事業所、障害者支援施設、障害福祉サービス事業所、保育所、認定こども園、地域型保育事業所、児童館、学童クラブ

● 本相談室は、京都市の委託を受けて、公益社団法人「葵橋ファミリー・クリニック」が実施しています。